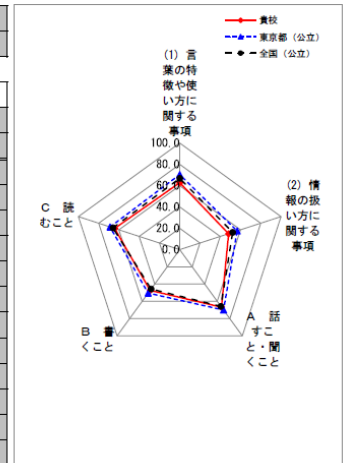


令和8年度「全国学力調査」分析

【国語】

対象児童数		練馬区立大泉北小学校	東京都（公立）	全国（公立）
		88	95,122	922,411

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
				貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体			13	59	65	60.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	62.8	70.4	66.8
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	2	48.3	56.7	52.3
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	66.7	70.0	65.8
		B 書くこと	2	47.2	50.4	45.7
		C 読むこと	2	64.2	68.8	65.9
評価の観点	知識・技能	6	58.0	65.8	62.0	
	思考・判断・表現	7	60.4	64.1	60.1	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	59.8	66.4	61.9	
	短答式	2	60.2	66.5	62.6	
	記述式	2	55.7	56.3	54.9	



平均正答率は59.1%で、文章を「書くこと(47.2%)」や「情報の扱い方(48.3%)」に課題が見られます。特に、情報を引用して考えを書く問題(33.5%)や自分の考えをまとめる問題(20.5%)など、根拠を示して文章を構成する記述式で正答率が低い状況です。

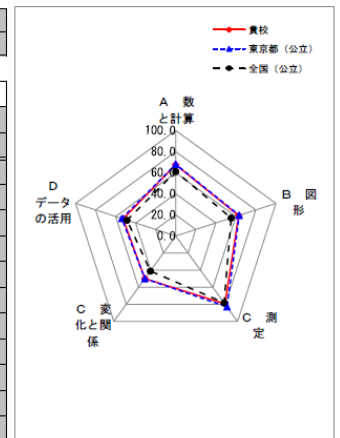
→短文記述の活動時間を確保し、段階的に書く力を高めます。ワークシート等を活用し「構成メモを作る」「根拠とセットで書く」指導を通して、条件に沿って考えをまとめる力を育てます。

ご家庭でも日頃の疑問や感想について「なぜそう思ったか」を話題にし、理由を言葉にする経験を重ねていただければ幸いです。

【算数】

対象児童数		練馬区立大泉北小学校	東京都（公立）	全国（公立）
		88	95,174	922,778

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		16	63	63	56.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	67.6	68.0	61.1
	B 図形	4	62.8	63.4	55.3
	C 測定	1	79.5	82.9	78.1
	C 変化と関係	3	50.0	49.9	41.1
	D データの活用	4	52.6	53.9	48.6
評価の観点	知識・技能	12	66.5	67.1	60.1
	思考・判断・表現	4	51.1	51.1	45.4
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	63.0	62.6	56.0
	短答式	8	65.8	66.7	59.7
	記述式	3	53.8	54.3	48.5



(注) 「学習指導要領の領域」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の問題数を合計した数は「全体」の問題数とは一致しない。

平均正答率は63.0%で全国平均を上回っていますが、「変化と関係(50.0%)」や「データの活用(52.6%)」に課題があります。特に割合や混み具合の判断(43.2%)や、二次元の表から複雑な条件を読み取る問題(28.4%)などで正答率が低くなっています。

→割合や比較の概念理解に向け、図や数直線を用いた視覚的な指導を強化します。また、複雑な表やグラフから条件に合う情報を読み取り整理する学習活動を増やします。

「なぜその式になるのか」解き方の根拠を図や言葉で説明し合う言語活動を通じ、論理的に考えを表現する力を伸ばしていきます。